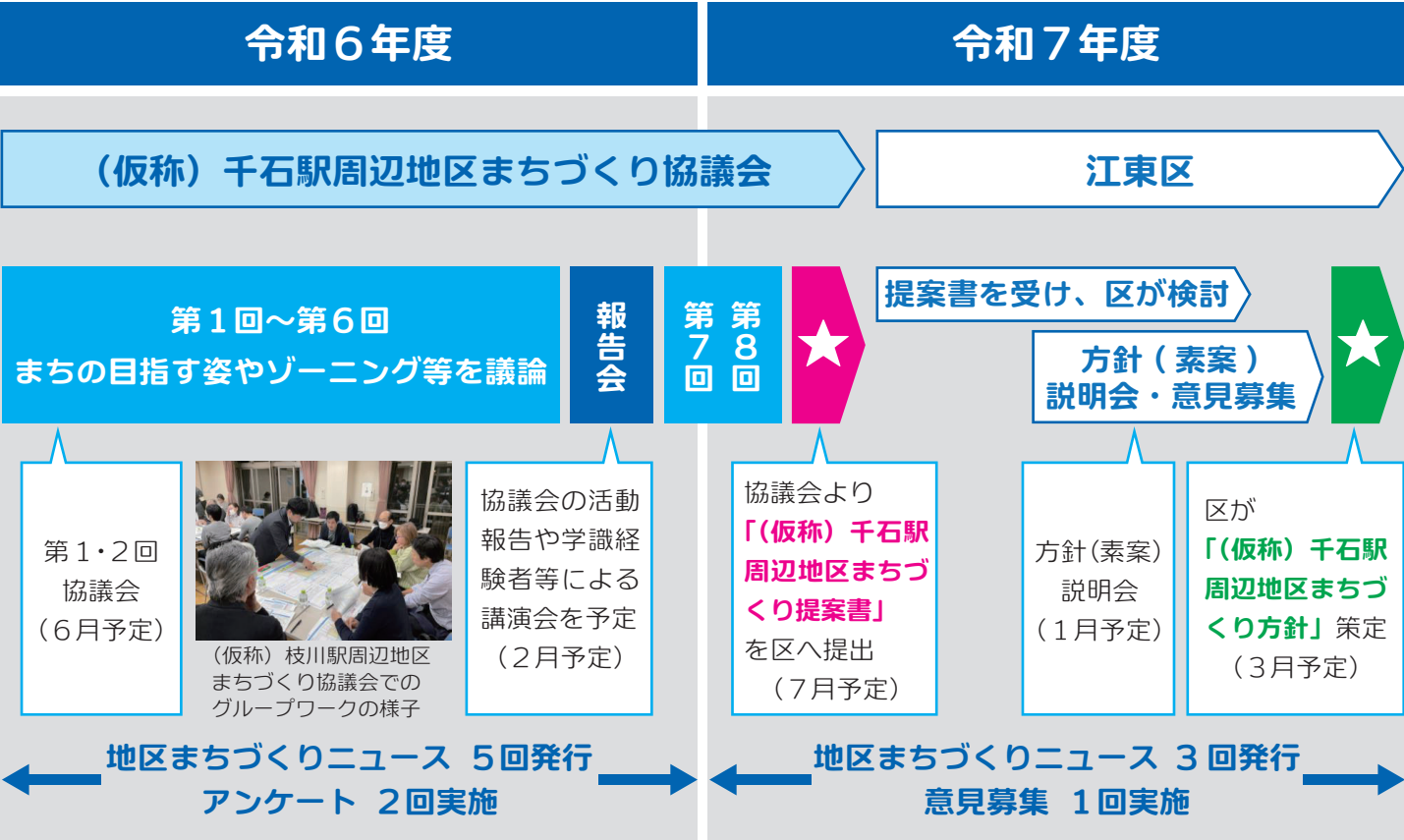


（仮称）千石駅周辺地区まちづくり協議会の設立及び進め方

（仮称）千石駅周辺の地区まちづくりを推進するため、地域の皆様を中心に構成する「（仮称）千石駅周辺地区まちづくり協議会」や地域のご意見を踏まえ、まちの目指す姿や実現に向けた取組の深度化をすすめ、区へ提出する「（仮称）千石駅周辺地区まちづくり提案書」としてとりまとめていただく予定です。

区は提案書を踏まえた「（仮称）千石駅周辺地区まちづくり方針」の策定を目指し、まちづくりの検討を行ってまいります。



地区まちづくりニュースに関する連絡先

江東区都市整備部 地下鉄8号線事業推進課 沿線まちづくり担当

（支援委託業者）
株式会社URリンケージ 都市・居住本部
都市再生部 都市再生企画課 担当：水野、橋本

所在地：東京都江東区東陽 2-4-24 サスセンター2階
電話：03(6803)6561

地区まちづくりニュースは、江東区ホームページにも記載しています。



<https://www.city.koto.lg.jp/397101/8gou-sennmachi.html>

（仮称）千石駅周辺の地区まちづくり **検索**

（仮称）千石駅周辺地区まちづくりニュース



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

（仮称）千石駅周辺の地区まちづくりが始まります！！

江東区では、令和4年度に策定した『江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想（以下「沿線まちづくり構想」）』を基本とし、（仮称）千石駅周辺の地区まちづくりを推進するため、地域の皆様とともに、まちの目指す姿や実現に向けた取組の深度化を図ってまいります。

令和7年度末までに地区まちづくりニュースを8回発行し、地域の皆様に（仮称）千石駅周辺地区まちづくり協議会（4ページ参照）の活動内容等、地区まちづくりの情報をお知らせします。



駅の位置は「都市高速鉄道第8号線豊洲～住吉間建設事業」環境影響評価書案（令和5年6月）を基に作成

基盤地図情報（国土地理院）
(<https://www.gsi.go.jp/kiban/index.html>)を基に
株式会社URリンケージ作成

地区まちづくりに関するアンケートにご協力ください。

（仮称）千石駅周辺にお住いの皆様や事業者の皆様の意見を伺い、「（仮称）千石駅周辺の地区まちづくり」に反映させるため、**居住者版（緑色）・事業者版（水色）・こども版（橙色）アンケートを同封**しています。ご協力いただきますようお願いいたします。



（仮称）千石駅周辺の地区まちづくり に関連する情報をご紹介します

地下鉄8号線の延伸について

令和4年3月28日、東京メトロが申請していた地下鉄8号線（有楽町線）豊洲～住吉間延伸について、国土交通大臣の鉄道事業許可を受けたことにより、鉄道による新たな南北交通が形成されることとなりました。



延伸による効果

開業目標：2030年代半ば

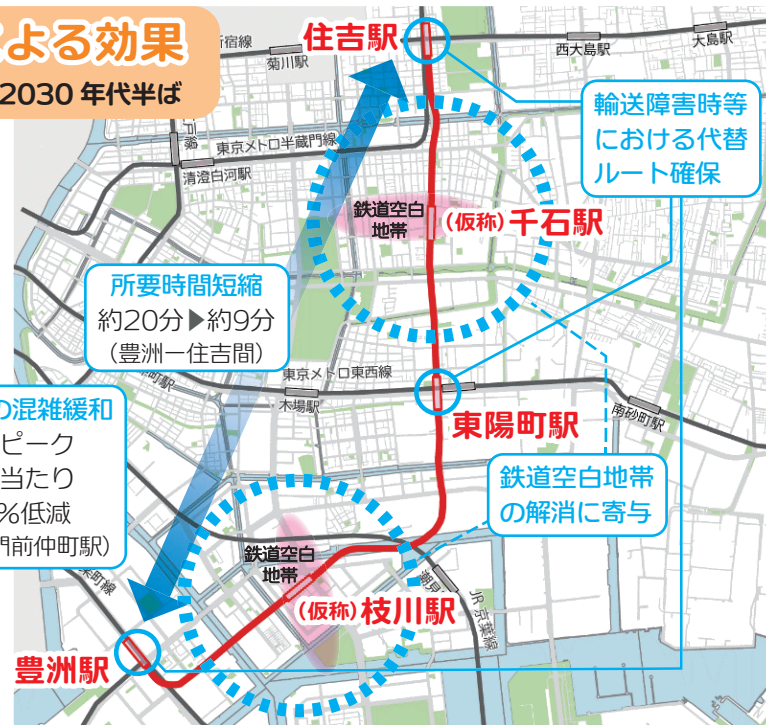
所要時間短縮

約20分▶約9分
（豊洲～住吉間）

周辺路線の混雑緩和

混雑率ピーク
1時間あたり
約20%低減
（木場駅▶門前仲町駅）

江東区地下鉄8号線沿線
まちづくり構想（令和5年
3月、江東区）を基に作成



沿線まちづくりの5つのテーマ

「沿線まちづくり構想」では、地下鉄8号線延伸がまちに与える影響、沿線まちづくりにおいて検討すべき視点、地域の特徴、さらに地域の皆様の意見を基に、重要と考える5つのテーマを掲げています。

安全・安心

- 震災や水害に対する防災力の強化を目指します。
- まちなかでの防犯性を向上させ、安全、安心な地域環境を目指します。

- 公園や緑、水辺を活かし、周辺と調和したオープンスペース等の空間創出を目指します。
- 緑や新たな移動手段の充実等により、脱炭素社会に向けた環境負荷の低減を目指します。

水辺・環境

5つのテーマ

交通・つながり

地下鉄8号線の延伸を含む新たな交通やそのつながりは、周りの4つのテーマを相互に結び付ける基盤となる重要なテーマです。

- 持続的にまちや人がつながる新たな交通ネットワーク形成を目指します。
- 多様な交通手段を検討し、誰もが快適に移動できる利便性の高い交通環境を目指します。

暮らし・憩い

- 多様なライフスタイルに合わせて、健康で快適に過ごせる生活環境を目指します。
- まちの魅力を未来につなぐため、美しいまち並みや生活利便性の維持向上を目指します。

交流・にぎわい

- 交流の機会を創出し、幅広い世代が交わるコミュニティ活動の活性化を目指します。
- 各地域の持つ個性ある地域資源を活かし、新たな観光とにぎわいの創出を目指します。

（仮称）千石駅周辺で目指す姿

「沿線まちづくり構想」では、沿線まちづくりの5つのテーマを基本とし、江東区都市計画マスタープラン2022、アンケートやワークショップ、その他の機会における意見（小学校での出前講座やイベント等）を踏まえ、（仮称）千石駅周辺で目指す姿として以下のように示されています。

みどり*連なり、下町人情あふれる 安心快適な定住拠点

商店街を中心とする下町情緒を感じる良好な居住環境を保全しつつ、中間新駅設置に伴う人流変化との調和を図りながら、仙台堀川公園等を中心に幅広い世代がつながり、地域コミュニティを形成することで暮らしやすく、安心して快適なまちを目指す姿として設定します。

※植物自体だけでなく、樹林地、草地、水辺、広場等、動植物が生息し、自然と人が共生する環境やその恩恵、人との関わりによる文化等を含めたもの。
出典：
江東区みどりの基本計画（令和2年3月、江東区）

●（仮称）千石駅周辺で目指す姿のイメージ



コラム 小学生が描く未来のまち

令和4年度『203×年のみんなのまちを考えよう』をテーマに小学5年生を対象に出前講座を行い、「未来のまち」をテーマとした絵画等を作成してもらいました。

●小学生の主な意見

- 『水や緑に囲まれた豊かなまち』
- 『笑顔あふれる遊びのまち』
- 『にぎやかなまち』
- 『健康を大切にできるまち』
- 『おしゃれなまち』
- 『子育てがしやすいまち』

●出前講座の様子



●小学生の作品（抜粋）

